

こんな姿を  
めざしたい!!



# 資料を根拠に、既習事項を使って 自分の言葉で表現する

## 問題の概要

日本各地の「気温と降水量のグラフ」を踏まえて、日本の気候に影響を与えている風の名前を漢字3字で答える問題

## 正答

季節風

## 特徴的な傾向

無回答

誤答から見える

児童のつまずき!

## ここがつまずき!

・「季節風」の意味、日本に与える影響についての理解が不十分。

※目的意識のある学習になっていますか?

※定着をめざした学習の振り返りをしていますか?

※他の単元で、既習の用語を使っていますか?



## 5 学年の学習で...

## 日々の学習における改善・充実

日本の地形と気候について、様々な土地の自然条件に着目して、比較・関連付けて考え、地図や雨温図、写真などの資料を活用して調べて、白地図などにまとめ、我が国の地形や気候の概要を理解できるようにする。

### 【授業デザイン例】

≪第1時≫ 日本各地の同月の写真の提示  
→Q なぜ、同じ月なのに様子が異なるのだろうか?

【学習問題】日本の地形や気候にはどのような特色があるのだろうか?

≪第2時≫ 山頂付近と麓付近の写真の提示  
→Q なぜ、同じ県なのに様子が異なるのだろうか?

≪第3時≫ 日本海側と太平洋側の雨温図の提示  
→Q なぜ、グラフの形が反対なのだろうか?

目的意識につながる問題解決的な展開や、適切な振り返りにしていくためには、単元等のまとまりを見通した授業デザインが必要です。最低限の理解項目を明確にし、単元レベルと1時間レベルのそれぞれでデザインしていく必要があります。

～≪第3時≫課題設定場面の一例～

T:これは新潟県と東京都の雨温図です。何か違うところがありませんか?

C:形が反対です。

こんな  
問いかけ  
してませんか?

T:そうですね。なぜ、グラフの形が反対なのでしょう?

児童が目的意識をもつことができるような、問題解決的な展開を意識していますか?

～≪第3時≫振り返り場面の一例～

T:なぜ日本海側と太平洋側でグラフの形が反対なのでしょう?

C:今日調べてわかった「季節風」が影響しています。季節風の影響で日本海側では…(後略)...

学習問題の解決につながるような、振り返りを意識していますか?

## 既習の知識・技能を意識して使い続けましょう

該当単元だけでなく、学習後も関連する場面で「意識して使い続ける」ことが大切です。

授業改善の  
POINT

# 「問題解決的学習」と「適切な振り返り」を!

## ～単元等のまとまりを見通した授業デザイン～

